

# 彼方「かなた」

校長通信  
H24.9.21  
Vol.20

【体育祭で伝えたかったこと】  
(開会式)

私たちは、この四月から「自主貢献」を学校目標とし、自分で考え、人のために行動し、助け合える生徒を目指してきました。二期期の始業式ではみなさんに体育祭の話をしました。私たちの体育祭は、観に来てくださった人たちに笑顔を与え、元気にする行事のひとつだというお話です。我孫子市教育委員会より教育委員の北嶋扶美子様を始めとする多くのご来賓の皆様、早朝より来ていただいた多くの保護者の皆さん、そして地域の皆さんに感謝しながら私達の一生懸命な姿を観ていたことで、笑顔にし、元気になってもらいたいです。

競争だから勝ったり負けたり、一位になったりビリになったりします。でも、観ている人が心動かされるのは、負けても最後まであきらめない姿です。きつなくても頑張つて力を振り絞っている姿です。仲間と力を合わせて協力している姿です。そういう一生懸命さが人の心を揺さぶるのです。

本気で頑張ったかどうかは、自分自身が一番よく知っています。自分をごまかさず、本気で頑張る一日にしてほしいと思います。ビリになることが恥ずかしいのではなく、ビリになった恥ずかしさをごまかして、あきらめてしまうことが恥ずかしいのです。ロンドンオリンピックやパラリンピックで一生懸

命チャレンジする選手の姿に私たちが勇気づけられたことを忘れてはなりません。今度は皆さんが競技や係活動を通して、この会場中の人達を元気にする番です。腹の底から大きな声を出し、仲間を応援し、勇気づけてください。その姿が、周囲を笑顔にし、元気にしていくのです。

今日一日、湖北中のグラウンドをみんなの一生懸命さで一杯にし、体育祭が終わった時、頑張った自分に見えない金メダルをかけてあげてください。笑顔の挨拶、真剣に競技する姿、目いっぱい応援、思いやりのある係活動が繰り広げられるのを期待しています。「いくぞー!」「オー!」以上!

(閉会式)

一二〇点の出来でした。最高です!みなさんの一生懸命さが伝わってきました。みんなに元気をもらいました。ありがとうございます!

ご来賓の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さん、本当にありがとうございます。子供たちの一生懸命さが伝わったのでしょうか?笑顔と元気を持って帰れますか?早朝より最後まで一日お付き合いました。き、本当にありがとうございました。

勝つても負けても一生懸命やったという事実は残ります。明日からの学校生活の中でも、「一生懸命さが周囲を元気にする」「笑顔をつくる」ということを忘れずに生活しよう!

家に帰ったら一生懸命やった自分に見えない金メダルをかけてあげてください。本当に素晴らしい体育祭をありがとうございました。



【体育祭を終えて】

体育祭実行委員、応援団、生徒会役員の生徒が実に真剣に練習に取り組み、当日は素晴らしい

パフォーマンスを見せてくれました。  
「先生方にマイクを持たせない!」と心に決め、女子のダンスを引っ張った三年生のダンスリーダーや三年生の伝統ある学年種目をつくり上げてきた種目責任者、応援団、実行委員、本当に素晴らしい取り組みを見せてくれました。感謝です!

「自主貢献」の学校行事では、生徒が自主的に活動できるように、教師が支援しながら生徒と一緒に活動しなければならぬことを考えています。指示や命令だけで動くのではないことを教師も生徒も学ばなければならぬのです。本番だけでなく、日頃からそういう意識で日常活動にも取り組む必要があります。本番は、そういう日常活動で身につけたものを表現し、それを評価する場なのです。

中央研修に参加し、つくばに泊まり込みで出張していた教務主任の羽場先生が、久々に帰校し、「生徒が前面に立ち、積極的に活動している様子が見られ、先生方の意図が伝わりました。」と評価してくれました。大変うれしいことです。

今年度の「伝説の学校」の十二の実践(プライド)のひとつ「充実の自治活動」の意味を真に共通理解し、今回の体育祭の取り組みがベースになるようにしていきたいものです。

最後にもう一度三年生のがんばりに拍手!